

桂川だより

29年度  
前期学校評価特別号  
京都市立桂川小学校  
校長 奥田 直孝

第1回子ども育みアンケートより

日頃は、本校の学校教育にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。6月に実施いたしました第1回子ども育みアンケートの結果をお知らせいたします。

京都市の学校教育の重点、及び、本校の学校教育目標に照らし合わせた項目を設定し、「保護者」「児童」「教職員」それぞれの自己評価という形でのアンケートです。3者がそれぞれに自分自身の取組やかかわりを振り返り、見直しの視点を明らかにしたいと考えます。

～大好き桂川校～

めざす子ども像

学校教育目標

「みんなと高まり合い 学びつづける子」

か

つ

ら

が

わ

かんしゃする子

つよい心と体の子

らしさを認め合う子

学習に進んで取り組む子

わかるように伝え合う子

アンケート結果の概要

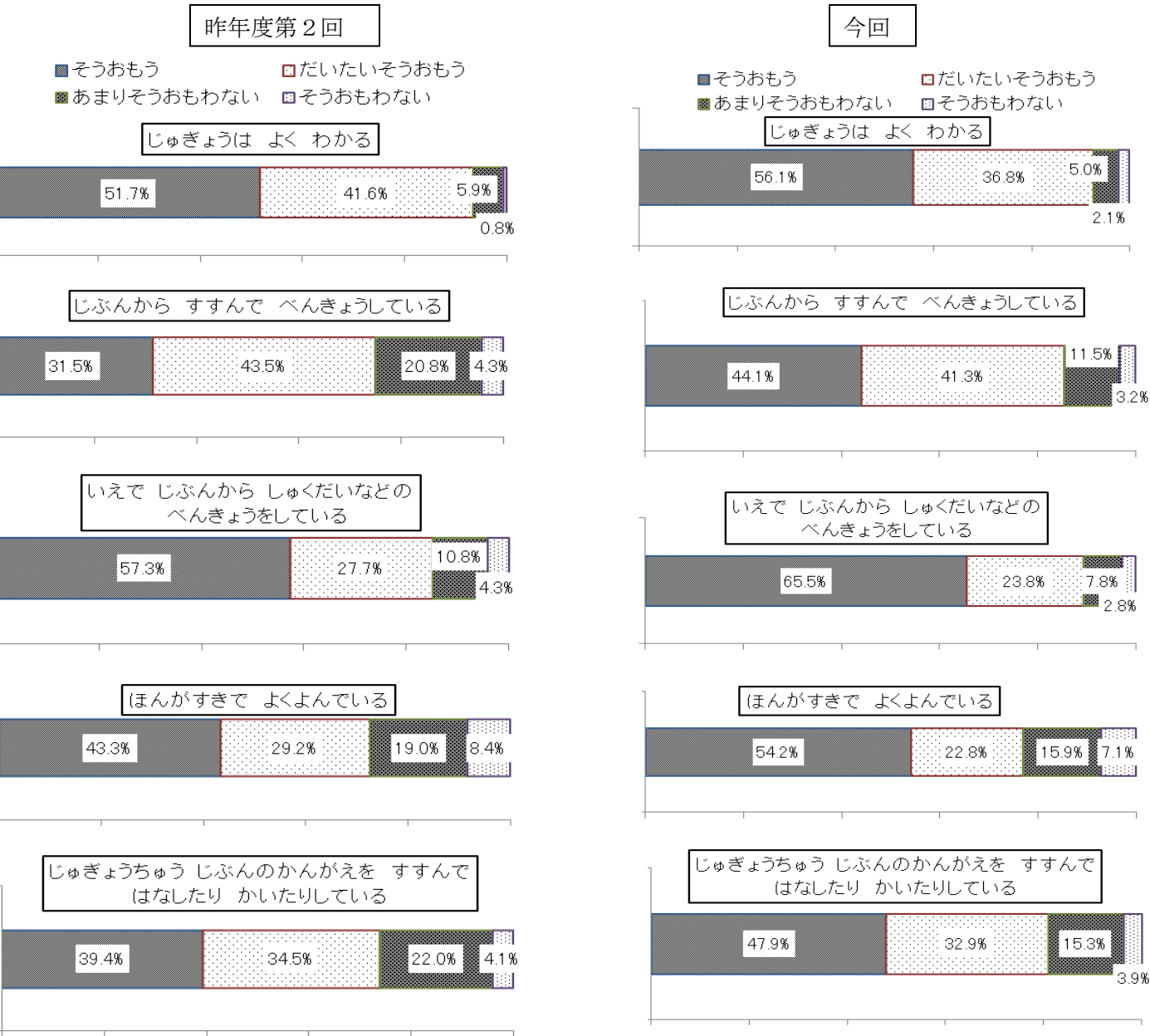
- ・3者をくらべると児童の自己評価が一番高くなっています。また、児童については、ほとんどの項目で昨年度第2回よりスコアが上がっています。新年度を迎え、新しい学級になり、新たな気持ちで意欲的に取り組んでいる様子がうかがえます。
  - ・保護者については、昨年度第2回よりスコアが下がっている項目が多いという結果になりました。
  - ・教職員については、昨年度低かった3つの項目★（基本的生活習慣への働きかけ、家庭学習課題の工夫、読書指導）について向上が見られました。スコアとしては、まだまだ低いものもありますが、今後意識して取組を進めていきたいです。
  - ・本校のめざす子ども像「か・つ・ら・が・わ」ごとに見てみると、「か」「つ」については、おおむね良好な結果でしたが、「ら」については、教職員のスコアが低くなっています。この結果を受け止め、これからの学級経営ではそのあたりも意識して取組を進めていきたいと考えます。
- 学習に関わる「が」と「わ」については、低いスコアの項目が多く、研究の取組を充実させるとともに、日々の取組を意識して充実させていきたいと考えます。

アンケート結果集計表

質問ごとの回答の平均値を最高7点のスコアで表示した表です。めざす子ども像（か・つ・ら・が・わ）ごとにまとめました。色つきは評価の高かった項目、太字は昨年度第2回よりスコアの上がった項目です。

		児童			保護者			教職員		
		質問項目	昨年度第2回	今回	質問項目	昨年度第2回	今回	質問項目	昨年度第2回	今回
か	かんしゃする子	がっこうは たのしい。	6.3	6.3	わが子が楽しく通学できるよう、学校での楽しかったことを中心に家庭で話題にしている。	5.7	5.5	全ての子どもが、楽しく学校生活を送れるよう環境づくりをしている。	5.8	5.3
		じぶんから あいさつをしている。	5.8	6	家族間でもあいさつをするよう心がけている。	6.4	5.9	子どもが、自分からあいさつできるよう、自ら気持ちのよいあいさつを心がけている。	6	5.8
つ	つよい心と体の子	きまりや やくそくを まもって たのしきかいがつしている。	5.9	6.1	わが子に決まりや約束を守ることの大切さを話している。	6.2	5.3	子どもが、決まりや約束を守って生活できるよう、桂川スタンダードの実践を進めている。	5.4	5.8
		はやね・はやおき・あさごはんなど まいにちの せいかつりずむに きをつけて すごしている。	5.2	5.7	わが子が、早寝・早起きをし、毎日朝ごはんを食べるようにしている。	6	5.8	子どもに、早寝・早起き・朝ごはんなどの基本的生活習慣が身につくような働きかけをしている。	4.6	★ 5.4
		よいこと わるいことをくべつし よいとおもうことをすすんでおこなっている。	5.7	5.9	わが子が、できるだけ自分で考えて正しく判断し行動できるように働きかけている。	5.6	5.3	子どもが、自分で考え、正しく判断し行動できるよう支援している。	5.6	5.6
ら	らしさを認め合う子	ともだちを たいせつにし なかよくしている。	6.5	6.4	わが子が友達を大切に仲よくするよう働きかけている。	6.4	5.9	互いに思いやり、支え合う学級づくりができています。	5.4	4.9
		ともだちの よいところを みつけられる。	5.8	5.9	子どものよさを認め、ほめている。	5.6	5.7	子どものよさを積極的に見つけ、ほめている。	6	4.5
が	学習に進んで取り組む子	じゅぎょうは よく わかる。	5.9	5.9	わが子が学習を理解しているかを把握している。	5.2	5.1	分かる授業の工夫と実践を日々行っている。	5.4	5.2
		じぶんから すすんで べんきょうしている。	5	5.5	わが子が進んで学習に取り組むよう励ましている。	5.2	5	子どもが主体的に学習に取り組めるような、学習展開を工夫している。	5.2	5
		いえで じぶんから しゅくだいなどの べんきょうをしている。	5.8	6	わが子に、家庭学習の習慣がつくよう働きかけている。	5.3	5	子どもが、進んで家庭学習に取り組むような課題を工夫して与えている。	4.6	★ 4.9
		ほんがすきで よくよんでいる。	5.2	5.5	わが子が本をよく読むように勧めている。	4.8	4.4	子どもに、読書習慣が身につくよう、読書指導をしている。	4.6	★ 4.8
わ	わかるように伝える子	じゅぎょうちゅう じぶんの かんがえを すすんで はなしたり かいいたりしている。	5.2	5.5	わが子が授業中進んで話したり書いたりするよう励ましている。	5	4.6	子どもが、自分の思いや考えを進んで話したり書いたりできる場を設定している。	5.5	5.4
					HPやお便りを見て、学校の様子や教育方針をわかっている。	5.2	5.1	HPや通信で、学校の様子や教育方針を保護者に伝えている。	5.2	5.1
					学校や地域の行事にできる範囲で参加するようにしている。	5	4.7	保護者や地域の方々と交流を深め、地域行事に参加している。	4.7	4.6

学習に関わる「が」と「わ」の項目について、昨年度の第2回と今回の児童の回答状況を比べてみました。



5つの項目共に「そうおもう」と回答した児童の割合が上がっています、特に『自分から進んで勉強している』と『授業中自分の考えを進んで話したり書いたりしている』の項目については、「そうおもう」と「だいたいそうおもう」を合わせると、昨年度第2回より大きくのびていることがわかります。昨年度より、学校教育目標の一つとして子どもたちと共通理解して取り組んでいる「㊦く習にすすんで取り組む子」の意識が高まりつつあるようでうれしいことです。

しかしながら、教職員の評価は、授業そのものの内容を問う項目で自己評価が低く、これについては、まだまだ自分の授業に改良の余地があるという思いの表れだと考えられます。研修を積み、さらに充実した授業を展開できるよう、学校全体で取り組んでいきたいと考えます。

### 自由記述より～ご意見いただいたことをまとめて掲載しています～

- ・学校教育目標やめざす子ども像をしっかりと掲げていて教育方針が分かりやすい。
- ・か・つ・ら・が・わの目標がとてもよい。
- ・各教員間で授業力や指導力をどのように向上させているのか保護者にもわかるとよい。
- ・校長先生をはじめとてもよい先生がたくさんいらっしゃるの、安心して学校生活を送ることができます。
- ・休み時間に先生と一緒に遊んでくださることで、今まで遊んだことのない友達とのかかわりのきっかけとなり感謝しています。
- ・算数の少人数クラスは、目が届いてよいと思います。
- ・いろいろな体験をさせてもらっています。親だけでなく学校や地域の方たちからいろいろなことを吸収してくれたらと思います。
- ・作文の宿題はありがたい。新聞づくりなど、自分の考えをまとめたりする機会がたくさんあるとよいと思います。
- ・校舎全体の汚れ、特にトイレ他廊下や手洗い場、雑巾の汚れが気になります。
- ・読書タイムがあったり、100冊読むことを目標に掲げていたりするので、「もっとたくさん読もう。」という意欲がわいてくるようです。
- ・朝の読書時間はこれからも続けてほしい。
- ・勉強もゆっくりていねいに進められていて、どこが苦手で分かっていないかがよく分かる。家でも復習しやすい。
- ・一人一人が主役の・・という現代の流れですが、競争心が育たなさすぎのような気もして・・・。あのねタイムはありがたいと感じています。
- ・毎日の宿題が多く、子どもの負担になっています。
- ・宿題の量をもう少し増やしてほしい。
- ・家の子にとっては宿題が少々多いようですが、基本的なことをしっかり身に付けさせようとする先生方の姿勢が伺え、とてもありがたいことです。
- ・外国語の授業が始まり、期待しつつ、嫌がったらどうしようかと不安もありましたがとても楽しく勉強できてるようで良かったです。
- ・高学年になるにつれて元気に子供らしくあいさつをしてくれる子たちが少ないように感じます。低・中学年のまっすぐキラキラしたまんま成長できる環境づくりを家庭でも協力していきたいです。
- ・交通当番に立っていると、どうしてもあいさつができていないと感じます。防犯の意味であいさつさせていないのかもしれませんが・・・。
- ・学校のHPやお便りなどで学校の様子を詳しく知らせていただきありがたいです。
- ・HPの更新頻度を増やしてほしいです。
- ・古紙回収の収益が増えて、いろいろ新しいものが増えると子どもたちが喜ぶのもっとみんなに協力してもらえるといい。